

2025年8月21日

株式会社エコグリーンホールディングス

国内初!! 早生樹(ユーカリ)を活用した「森林経営計画」が 農林水産省大臣から認定されました。

株式会社エコグリーンホールディングス(本社:東京都中央区、代表取締役:石井光暢、以下「当社」という。)のグループ会社である株式会社 EGForest(本社:千葉県富里市、代表取締役:寺島広高、以下「EGF」という。)が提出した「森林経営計画」※が、2025 年 7 月 17 日付で農林水産省大臣より認定されました。

今回 EGF で認定を受けた「森林経営計画」(以下「本計画」という。)は、造林樹種を「ユーカリ」としており、国内初の認定事例となり、再生可能な資源としても注目される木材の持続的供給を目的として、長期的な森林資源の循環利用体制を構築するものです。具体的に、EGF が管理する千葉県内他の社有林約160ha において、間伐・主伐・再造林・育林といった一連の森林施業を適正に行うための実施内容を定めています。本計画の中心となる千葉県においては、広範囲にわたってスギの木に「^{みぞぐされびょう}溝腐病」が蔓延しており、多くのスギ林が建築用材として使うことができない状態になっています。また、強風などによる倒木は、近年の自然災害でも目立った特徴となっています。その改善策として、気象害や病害の被害林の伐採・再造林を行うことで新たな森づくりを推進することが急務となっており、本計画を実行していくことで地域課題の解決に繋がてまいります。

さらに当社は、「ユーカリを活用した、エネルギーの森づくり実証事業」が経済産業省所管、NEDO の2回目の採択を受け、1期目の実績として40ha、今回採択の2期目(3年間)で16ha、計56ha の森づくりに向けて事業活動を進めております。

NEDO 事業と今回の本計画の認定を受け、今後当社グループでは、千葉県内においてユーカリを中心とする木材生産を行い、森林を軸とした地域経済への貢献とレジリエントな地域づくりへの展開を加速させると共に、持続可能な社会の実現を目指してまいります。



△ユーカリ



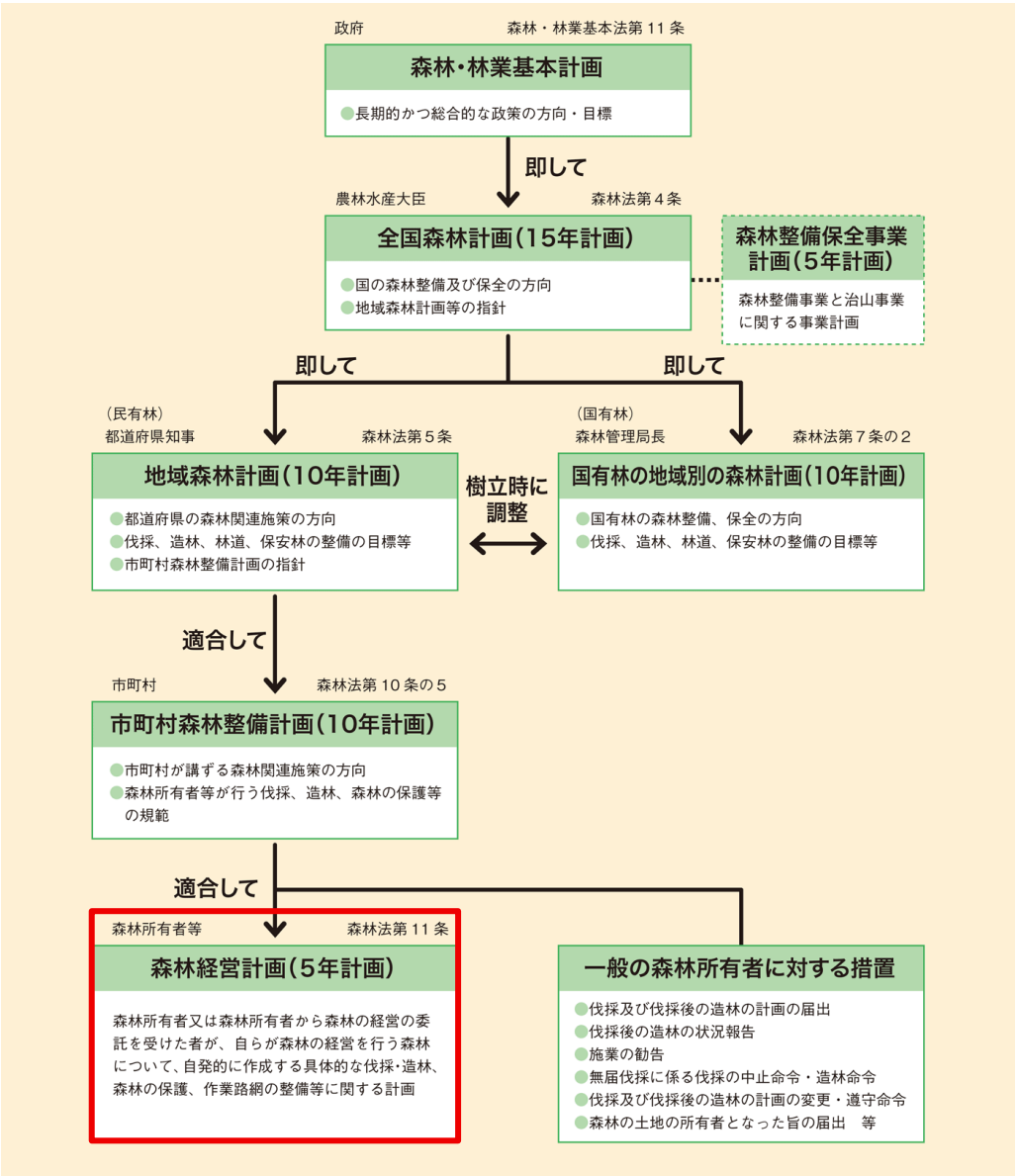
△溝腐病の木

※「森林経営計画」とは、森林法に基づき、一定期間(通常 5 年間)にわたり森林所有者が行う伐採・造林・保育等の計画を立案し、市町村経由で都道府県・国の認定を受ける制度です。認定を受けることで、森林を守り・保全するために各種支援制度の活用や持続可能な森林経営を行うための政策との連携が可能になります。

<お問い合わせ先>

株式会社エコグリーンホールディングス 経営企画部(酒井、流)
TEL 03-3537-3240(代表)

<別紙> 1. 森林計画制度の体系



出典: 林野庁ホームページより抜粋